

次号予告

2016年1月号

特集

がん在宅チームケア 多職種で持ち寄る知恵とワザ

病院における緩和ケアチームの活躍と同様、在宅でもがん支援には「チーム」であることが大切。がんの関わりは短くなりがちで、関係者との連携を深める時間も多くはありません。でも、連携を積み重ねた「チーム」が地域にできていけば、スピーディーでタイムリーな対応が可能になるのです。

本特集では、がん在宅ケアチームを構成する各職種から、「その職種の視点」と「その職種にできること」を解説していただきます。よりよい連携のために、まずは「チームメイト」の専門性と考え方を知みましょう！

「がん在宅チーム」を作ろう！

——「浅草かんわネットワーク研究会」の取り組みから

●倉持雅代

【多職種の視点】

医療ソーシャルワーカー：社会・経済的支援

●品田雄市

ケアマネジャー：介護保険の使いどころ

●鉄穴口麻里子

薬剤師：疼痛管理

●山根暁子

訪問看護師：意思決定に寄り添う「在宅緩和ケア」

●田代真理

病院・在宅ケアチーム・家族をつなぐ

「ツール」の開発と活用 ●桜新町アーバンクリニック

在宅緩和ケアにおける医師-看護師の

よりよい連携のポイント ●新庄拓也

INTERVIEW マグネットステーション

長田牧江さん（玉穂訪問看護ステーション/玉穂ふれあい診療所）

編集後記

今号の特集は、東京訪問看護ステーション協会による訪問看護体験研修が10年以上継続されてきているというお話から始まりました。研修委員の方々が有志のもと土・日を費やすなどしても、この取り組みを継続されてきた慧眼とご尽力には頭が下がります。

また、今号にて「これって急変？ part2」「一器多用」の2つの連載が最終回を迎えました。いずれの連載も読者のために毎回内容を練り上げていただき、ゆるみなくご継続いただきましたことに心より御礼申し上げます。…小林

「しょうがい」にはいろいろな書き方があります。「障害」「障碍」は昔からありましたが、ネガティブな意味の害や碍という字を避ける「障がい」が、弊誌では少し前から多くなっているようです。

インタビューに登場いただいた認定NPO法人フローレンスさんは、「障害」といいます。これは、「その人に」心身の不具合があることではなく、「社会の側に」物理的・制度的な問題があることを指しているからだそう。訪問看護もまた、社会の側の「障害」によって、その人らしい生き方を阻害されている人を支援する仕事。その方法はいろいろあるし、必要なものがなかったら新しく作ればいい。そんな考え方もまた、訪問看護師とフローレンスさんの共通点かもしれません。

…栗原

訪問看護と介護 第20巻 第12号（通巻234号）2015年12月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2015, Printed in Japan

1部定価：本体1,300円＋税 年間購読料（税抜、送料弊社負担、年間12冊）：12,600円（冊子版）／

15,600円（冊子＋電子版/個人）／17,520円（冊子＋電子版/共有）／12,600円（電子版/個人）／14,520円（電子版/共有）

販売部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小林・栗原・早田

✉ houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構

（☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉ info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は、株式会社医学書院の登録商標です。